

REPORT 2014

〈特集〉

大切なご家族を
特殊詐欺被害から守る！

◎トップメッセージ

◎あきぎんTopics

◎地域経済振興

秋田からアジアへ

◎業績ハイライト

収益性・健全性／資産の健全化

預金・預り資産の状況／貸出金の状況



大日堂舞楽
(鹿角市)



保呂羽山の霜月神楽
(横手市)



男鹿のナマハゲ
(男鹿市)



目次

01 ◎トップメッセージ

03 ◎あきぎんTOPICS

05 ◎地域経済振興

「秋田からアジアへ」

「台湾・フィリピン経済交流ミッション」

09 ◎特集

「大切なご家族を特殊詐欺被害から守る！」

「今一度、知っておきましょう」振り込め詐欺」

11 ◎業績ハイライト

収益性・健全性／資産の健全化

預金・預り資産の状況／貸出金の状況

住みよい社会づくり・

地域づくりを推進

地域経済の発展へ

一層取り組んでまいります

平素より秋田銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび、当行に対するご理解を二層深めていただくため、平成26年度上半期の当行の取組みを中心に、読みやすい形にまとめた「AKITA BANK REPORT」を作成いたしました。ぜひご覧いただき、ご参考にしていただければ幸いに存じます。

■地域の活性化、住みよい地域づくりへの取組み

当行では、「期待を超える価値を提供しつづける銀行」を目指す姿として、中期経営計画「あきぎんへしんか3」プロジェクト」を策定しております。この計画では、重点方針のひとつとして『新価値』の創造による地域発展への貢献を掲げ、地域産業の支援を通じた雇用の創出による生産年齢人口の維持拡大、そしてそれと同時に、各自治体との連携などによる「住みよい社会づくり・地

域づくり」の視点での施策を従来以上に強化していく方針としております。

その取組みのひとつとして、子育てしやすい街づくりと定住人口の確保に向けて、県内9自治体^(注)と「子育て支援ならびに定住促進に関する協定」を締結し、一定条件を満たした子育て世代のお客さまに対して、住宅ローンの金利優遇制度を設けております。また、増加する県内の空き家の状況をふまえ、老朽化した空き家の解体や、居住予定等のない空き家の取り壊しを検討されている方を対象とした「へあきぎん」空き家解体ローンの取扱いを県内14自治体^(注)との連携のもと、開始しております。今後も地域発展に向けた活動を強化してまいります。

(注)自治体の数は11月末現在

■海外取引をサポート

さて、本誌では、海外との経済交流拡大により、地域活性化をはかることを目的とした「台湾・フィリピン経済交流



ミッション」について紹介しております。

本ミッションは、当行の業務提携先である中国信託ホールディング（台湾）とメトロポリタン銀行（フィリピン）が持つネットワークを活用し、政府機関への訪問、現地企業との個別商談会およびビジネスセミナーなどを行うことで、お取引先の海外取引や海外進出のニーズに対するサポートを充実させることを目的としています。

当行では、こうした地域活性化へ向けた施策の実施を今後も継続してまいります。そして、さらなる企業価値の向上をはかっていくとともに、経営理念の「地域共栄」を実践できるよう、役員一同、精一杯努力してまいります。

皆さまには、引き続き一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

取締役頭取

湊屋隆夫

Profile〈あきぎん〉の概要（平成26年9月30日現在）

名称	株式会社 秋田銀行 The Akita Bank, Ltd.
本店所在地	秋田県秋田市山王三丁目2番1号
創業	明治12年（1879年）1月
預金・譲渡性預金	2兆5,115億円
貸出金	1兆5,466億円
資本	141億円
発行済株式数	186,936千株
自己資本比率	11.28%（国内基準）
長期格付	A ⁺ （JCR）
従業員数	1,464名
店舗数	本支店・出張所97か所（秋田県内82、秋田県外15）

秋田銀行 あきぎん Topics

地域の産業育成への取組み

平成26年 5月

「へあきぎん」女性創業者 応援ローン『Bizこまち』の 取扱いを開始

秋田県産業界での女性のさらなる活躍を応援するため、「へあきぎん」女性創業者応援ローン『Bizこまち』の取扱いを開始いたしました。

本商品は、ご融資利率を低く設定し資金面のサポートを行うとともに、秋田県信用保証協会の創業支援チームと連携して、創業・会社設立に関する様々な情報提供を行うほか、創業計画やその後の事業計画に関する具体的な経営相談や経営指導など総合的なサポートを実施し、女性による新しい視点でのビジネス展開を応援いたします。

8月

「へあきぎん」『新商品開発』 支援セミナーを開催

地域の事業者の皆さまに対する情報提供の一環として、「へあきぎん」『新商品開発』支

援セミナーを開催いたしました。

当行の業務提携先の協力を得て、地域特産品の開発にあたって参考となるブランディング、マーケティング、販路開拓などの分野に精通した講師を招きました。合わせて業務提携先各社が提供するサービスの個別相談会も実施いたしました。



新商品開発セミナー

8月

「食と農」女性の集い」を開催

県内の農業や食品関連でご活躍されている女性を対象とした交流会「食と農」女性の集い」を開催いたしました。

本交流会は、あきたアグリビジネス研究会の女性会員や会員の配偶者、食関連の女性経営者様などにご参加いただき、女性ならではの「食」や「農」に関する様々な意見

や情報交換の場を設けることで、新たなビジネスの創出や6次産業化の実現などに取り組んでまいりたいと考え、開催いたしました。



「食と農」女性の集い

秋田県の観光振興への取組み

5月

「秋田の魅力！ はし渡しキャンペーン」の メッセージのPRを実施

JR東日本秋田支社および秋田魁新報社との協定にもとづき実施した共同事業「秋田の魅力！はし渡しキャンペーン」で応募いただいたメッセージを、秋田新幹線「こまち」の車内および当行ATMコーナー用現金袋に掲載することで、秋田県の魅力を県内外に広くPRいたしました。

住みよい街づくりへの取組み

子育て支援ならびに 定住促進に関する協定の締結

子育てしやすい街づくりと定住人口の確保に向けて、県内各自治体と「子育て支援ならびに定住促進に関する協定」を締結しております。本協定により、3人以上のお子さまを扶養しているなど、一定の条件を満たすお客さまを対象に住宅ローンの金利引下げを行っております。



県内自治体との子育て協定締結式

6月

空き家解体ローンの取扱いを開始

増加する県内の空き家の状況をふまえ

空き家対策事業の推進をはかるため、「あきぎん」空き家解体ローン」の取扱いを開始いたしました。また、県内各自治体と覚書を締結し、自治体の補助金制度を利用されるお客さまには金利の優遇を実施しております。



8月 秋田プラチナタウン 研究会の設立

高齢者が健康で元気に暮らせるコミュニティづくりと持続可能な地域づくりの推進を目的とした「秋田プラチナタウン研究会」を設立いたしました。本研究会は高齢者施設などのハード面のみならず、高齢者が多世代と共存できる地域づくりや地域独自の社会インフラ構築などの可能性を追求し、将来的に首都圏からのアクティビシニア等の移住を促すなど、地域経済の活性化を展望しております。

7月 個人のお客様への取組み

LINEによる情報配信

スマートフォンのコミュニケーションアプリ「LINE(ライン)」において、ビジネスアカウントを開設し、各種キャンペーンやお得なサービスなどの情報配信を開始いたしました。



LINE画面



秋田プラチナタウン研究会設立総会

9月

インターネット専用支店 「あきぎんこまち支店」の開設

当行初の窓口を持たないインターネット専用支店「あきぎんこまち支店」を開設いたしました。インターネットを通じてお取引により、当行店舗にご来店いただくことなく預金口座が開設可能となるほか、当行の様々なサービスを24時間、便利にご利用いただくことができます。また、専用ホームページ内に観光紹介コーナーを設け、観光や食など「秋田の魅力」を全国に情報発信しております。



あきぎんこまち支店キャッシュカード

地域貢献活動への取組み

9月

「へあきぎん」森づくり活動の実施

八峰町にある「あきぎんの森」において、役員およびその家族約120名による植樹活動を実施いたしました。現地では、NPO法人白神ネイチャー協会の方々からの指導のもと、ブナの苗木を500本植樹しました。平成21年に開始した森づくり活動は、由利本荘市と八峰町の2か所で行っております。



八峰町での森づくり活動

【地域経済振興】 秋田からアジアへ

台湾・フィリピン 経済交流ミッション

Taiwan



アジアに目を向けたビジネス展開

日本の企業にとって、高い経済成長率を維持し続けるアジアの魅力は大きい。近年は大企業だけでなく地方の中小企業においてもアジアへのビジネス展開は、企業成長にとってその重要性を増してきている。

世界で最も親日的な地域である台湾。日本と台湾双方の短期訪問者数は2012年度に過去最高を記録した。日本企業の進出も多く、対台湾投資残高は年々増加し続けるなど日台間の経済交流は盛んである。また、中国本土進出への足がかりとして同一言語圏である台湾への進出は魅力的である。

一方、ASEAN諸国第2位となる約1億人の人口を誇り、英語が堪能で質の高い労働力が評価されているフィリピン。長い経済の低迷を脱し、中間層の拡大により様々なビジネスチャンスを秘めていることから、その市場は世界中の注目を集める。

平成26年10月19日から25日にかけて、秋田県と台湾・フィリピン両地域との経済交流拡大を目的とした「台湾・フィリピン経済交流ミッション」が、昨年のインドネシア、ベトナムに引き続き実施された。現地では、秋田銀行の業務提携先である中国信託商業銀行とメトロポリタン銀行の協力のもと、政府系機関への訪問、地元企業との商談会、現地企業の視察およびビジネスセミ



Philippines



一行が最初に訪れたのは台湾北部に位置する台北市。近年の経済成長により市民の所得が増大し、それに付随してサービス業が発展したことから第三次産業の割合が台北経済の9割を占める。小売業や飲食業においては日本企業の進出が著しく、市街では日本でも馴染みのある店舗を数多く目にすることができる。

10月20日、一行は台北市内にある亜東関係協会、經濟部工業局、經濟部國際貿易局

現地政府系機関との協力関係構築

	台湾の概要	フィリピンの概要
面積	3.6万km ²	30万km ²
人口 (2010年)	22,673千人	92,335千人
名目GDP (2012年)	4,742億米ドル	2,501億米ドル
1人あたりGDP (2012年)	20,489米ドル	2,587米ドル
国内総生産の実質 成長率(2012年)	1.3%	6.8%

出所：総務省統計局「世界の統計2014」

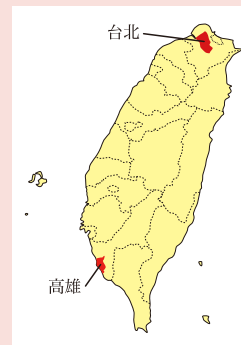
ナーなどを実施し、秋田県企業の海外取引によるビジネスチャンス拡大に取り組んだ。



中國信託商業銀行でのセミナー



レセプション会場にて秋田のPRを行う



Taiwan

現地企業との商談により 新たな取引の糸口を

同日午後、二行は台北市内のホテルを会場に台湾企業との個別商談会に臨んだ。この商談会は当行の業務提携先である中国信託商業銀行との提携事業の一環として実施され、秋田県企業の海外展開を通じて秋田・台湾相互のビジネスチャンスの拡大を目的としている。商談会に臨んだ秋田県企業は22社。会場には39社の現地企業が来



を訪問。一行はそれぞれの機関において、秋田県企業の台湾進出や台湾企業との貿易取引拡大に向けた協力関係についての確認を行った。經濟部国際貿易局の除副局長は「日本企業の中国大陸への進出成功率は67%であるが、台湾を通じて進出した場合、その成功率は10%もアップする。台湾を中国、東南アジア進出への窓口としていただきたい。」と挨拶し、秋田県企業の進出を歓迎した。

台湾第二位の人口を誇る 高雄市への訪問

翌21日、二行は台湾高速鉄道（日本の新幹線技術を採用）で台湾南部の都市、高雄市を訪問した。高雄市政府への訪問では、高雄市の陳市長が「高雄市の外資受入は日本が1番多い。高雄市は重工業の都市として発展してきたが、近年はデジタル産業、エコ産業分野にも力を入れており、今後、秋田とのあらゆる分野における交流をはかっていきたい。」と述べた。当行の湊屋頭取は



場し、合計95件にわたる商談が行われた。また、商談会終了後には、台湾政府関係者および商談会参加企業を招待した「秋田PRセミナー・交流レセプション」が行われ、会場では秋田県による観光PRのみならず、企業誘致についても展開された。ここでは、「稲庭うどん」や「秋田の地酒」も振舞われ、現地の人々に秋田を理解していただく絶好の機会となった。

中国信託商業銀行への訪問

10月22日は中国信託商業銀行の本部を訪れた。同行とは台湾でビジネスを展開する取引先のサポートを目的に、25年10月に業務締結している。本先では、台湾経済や、日本と台湾の経済関係に関するセミナーを受け、台湾の現状について学んだ。トップ会談では今後の様々な場面での協力体制を確認した。

高い経済成長率が続くフィリピン

台湾での活動を終えた一行は、フィリピンの首都マニラへ入った。フィリピンは2014年7月に人口が1億人を突破、インドネシアに次ぐASEAN第2位の人口を抱える。また、その人口構成は若年層の割合が高く、生産労働人口は総人口の約65%を占めている。そのため、最も経済成長しやすいといわれる「人口ボーナス」の恩恵を受けやすい国であると期待されている。経済成長率も高く、2012年には6.8%とアジアでは中国に次ぐ成長率となった。

10月23日、一行はジェットロマニラにてフィリピン経済についての講義を受けたのち、フィリピン経済区庁「PEZA」を訪問。



PEZAでの記念撮影



PEZAでのセミナー

Philippines

「PEZA」とはフィリピンへの投資促進、雇用創出、輸出創出を目的とした貿易産業省の付属機関であり、フィリピン全土に250を超える経済特区を設置し、区内の企業に優遇措置を与えている。

「PEZA」の説明をリリア・デ・マリヤ長官から受けた当行湊屋頭取は「経済特区における充実した投資優遇によるクオリティーの高いビジネス環境が整っており、実際にフィリピンに進出している秋田県企業も既にある。私どもは意欲のある企業をバックアップしていきたい。」と述べた。

メトロポリタン銀行との共催セミナー

その後、当行の業務提携先であるメトロポリタン銀行を訪問した。セミナーではフィリピン経済状況について説明を受けたほか、同行が日系企業への対応を目的として設置している「ジャパンデスク」の紹介を受けた。



また、セミナーに先駆け、ファビアン頭取とのトップ会談が実現した。ファビアン頭取が「我々は日本のお客さまのフィリピンの窓口として、ジャパンデスクを設けており、秋田銀行のお客さまは我々のお客さまとして対応させて頂くことをお約束する。」

と述べると、湊屋頭取は「貿易取引における企業の取引開拓ニーズは高いものがあり、両国間の貿易取引をさらに拡大していきたいと思っている。また、企業進出についても、企業ニーズの把握に努めながら努力していきたいと考えているので、メトロポリタン銀行様の特段のお力添えをお願いする」と返答し、秋田県企業のフィリピン進出に際しての協力を要請した。

現地企業

「SMT PHILIPPINES, INC.」の視察

翌24日、日本SMT株式会社（本社：秋田市新屋LED製品開発、販売）のフィリピン現地法人「SMT PHILIPPINES, INC.」を視察。本先は現地の従業員を約800人雇用し、プリンタの基盤やUSBメモリの製造を行っている。

現地では、池田社長から事業環境や労務事情のほか、駐在員の生活などについて説明を受け、工場見学を実施するなど、実際に現地で活動する企業に触れることで海外進出に関する理解を深めた。



海外ビジネスによって秋田の活性化を

日本との関係が深く、多くの企業が進出する台湾。経済成長が著しく、世界中から注目されるフィリピン。両国とも日本企業に対する信頼は厚く、進出・取引を歓迎する姿が印象的であった。また、現地での様々な交流を通じ、多くの秋田県企業の海外ビジネスへの関心もより一層高まる良い機会となった。

海外でのビジネスを拡大するためには、その土地の文化や商習慣など、乗り越えなければならぬ課題も多く、企業単独で解決することは容易ではない。当行はそういった悩みを解決するべく、今回訪問した中国信託商業銀行やメトロポリタン銀行など、各国の現地金融機関と業務提携し、海外ビジネスを検討する取引先のサポート体制を整備している。今後も、拡大する海外ビジネスのニーズに応えることで、秋田の地域活性化につながる活動を強化していく。

特集 大切なご家族を 特殊詐欺被害から守る!

～今一度、知っておきましょう「振り込め詐欺」～

「もしもし、オレだよ、オレ。実はトラブルにあって…」10年ほど前、このような電話で言葉巧みに金銭を騙し取る詐欺が認知され始め、後に「オレオレ詐欺」として知られるようになりました。

その後、警察官や役所職員など様々な人物になりすます手口も現れ、お金の受け渡し方法も、「振込型」から「現金受取型」「現金送付型」と形態を変えるなど、多種多様な犯罪へ変化しています。

ここでは、主な詐欺の手口を紹介し、皆さまが被害に遭わないための知識を持っていただきたいと思います。

…………… 特殊詐欺の類型 ……………

振り込め詐欺

オレオレ詐欺

電話を利用して「息子」「孫」「警察官」「銀行協会」を騙り言葉巧みにお金やキャッシュカードをだまし取る手口

架空請求詐欺

「有料サイトの料金が未払い」などと料金を請求するメールや文書を送付してお金を口座に振り込ませる手口

融資保証金詐欺

事業者などに「低利で融資する」などの文書を送付し、申し込んできた相手に保証金名目でお金を振り込ませる手口

還付金等詐欺

社会保険事務所や市役所職員などを名乗り「医療費を還付する」などと騙して被害者にATMを操作させ送金させる手口

その他の詐欺

金融商品等取引名目の詐欺

架空の未公開株・社債などの金融商品について、電話やパンフレットを送付するなどして虚偽の情報を提供し、購入すれば利益が得られるものと信じ込ませてお金を騙し取る手口

ギャンブル情報名目の詐欺

「パチンコ必勝法」などを教えると雑誌掲載や電子メールを送信し、これに応じて会員登録をもうしこんだ者に登録料や情報提供名目でお金を騙し取る手口

異性あっせん名目の詐欺

「異性を紹介する」などと雑誌掲載や電子メールを送信し、これに応じて会員登録をもうしこんだ者に登録料や情報提供名目でお金を騙し取る手口

その他の詐欺

「ロト6(宝くじ)の当選番号の情報提供名目」、「被害金返還手続き費用名目」、「宝石代理購入名目」などでお金を騙し取る手口

…………… 特殊詐欺への対応 ……………

「自分はだまされない…と思っていた。」

被害に遭われた方は皆さま、こう言っています。騙されないためには、
日ごろからどのようにして身を守るかを考えておくことが大切です。

キーワードは「電話でお金のお話をされたら…」



①電話を受ける前の対応

- 知らない番号からの電話に出ない。(留守番電話とナンバーディスプレイで相手を確認)
- 代表的な犯人の騙し文句を知っておく。
(息子等の振りをして)
「携帯電話の番号が変わった」
「風邪を引いて声がおかしい」
(投資会社等の振りをして)
「あなたにしか(未公開株などを)買えません」
「(企業の)パンフレットは届いていませんか」
「レターパックまたは宅配便でお金を送ってください」
- 合言葉や相談先を決めておく。



②電話を受ける時の対応

- 知らない番号からの電話には用心して出る。
- 「合言葉」を言って本人かどうかを確認する。
- お金の話がでたら用心する。(疑ってみる。)



③電話を受けた後の対応

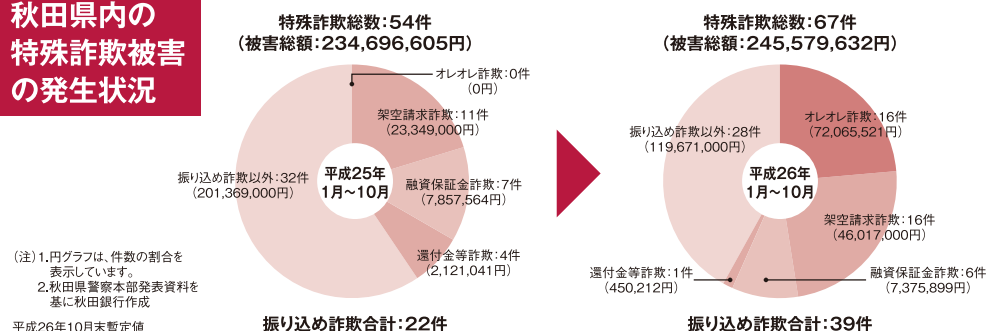
- 息子等の元々の電話番号にかけ直す。
- 遠慮なく警察や国民生活センター等に相談する。
- 金融機関等で声を掛けられたら耳を傾ける。(正直に話す。)
(お客さまにお声掛けするよう警察から依頼されています。)



④迷ったら相談する

- 少しでも怪しいと感じたら…家族や警察・銀行に相談する。

秋田県内の 特殊詐欺被害 の発生状況



収益性・健全性

AKITA BANK REPORT 2014

■ コア業務純益^(※)…33億円

コア業務純益は、資金利益の減少により、前年同期比12億円減少し、**33億円**となりました。

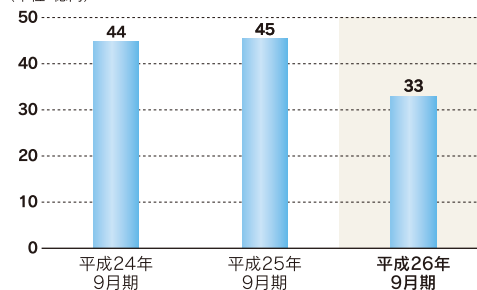
【コア業務純益】

用語解説

銀行本来の業務(預金、貸出、為替、有価証券など)から得られた利益である「業務純益」から、期ごとに特殊な要因で大きく変動する「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券関係損益」を除いたもので、「銀行の基本的な利益」を示します。

■ コア業務純益の推移

(単位:億円)

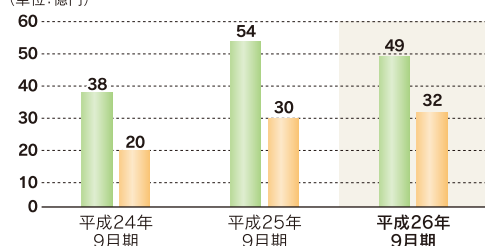


■ 経常利益…49億円 中間純利益…32億円

経常利益は、与信関係費用の減少により前年同期比5億円減少し、**49億円**となりましたが、中間純利益は、税金費用の減少により前年同期比2億円増加し、**32億円**となりました。

■ 経常利益と中間純利益の推移

(単位:億円)

■ 自己資本比率^(※)(単体)…11.28%

自己資本比率は、リスク・アセットの増加により、前期末比0.17ポイント低下し、**11.28%**となりましたが、従来に引き続き国内基準に求められる4%を大きく上回っております。

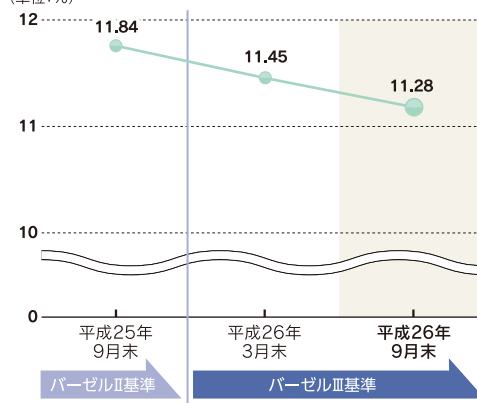
【自己資本比率】

用語解説

貸出金などの資産(リスク・アセット)に対する自己資本の割合で、銀行の健全性を示す指標のひとつです。海外に営業拠点を有する銀行は国際統一基準で8%以上、海外に営業拠点を持たない銀行(当行)は国内基準で4%以上を維持することが求められています。

■ 単体自己資本比率の推移

(単位:%)

■ 格付け^(※)…A+

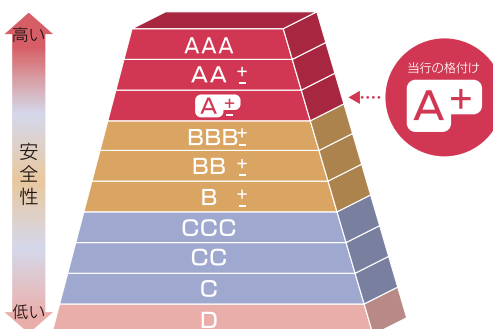
当行は、日本格付研究所(JCR)から長期優先債務について格付けランクの上位に位置する「A+」を取得しております。

「A」は、「債務履行の確実性は高い」と定義されており、当行の財務内容の健全性が評価されていることを示しております。

【格付け】

用語解説

格付けとは企業が発行する債券が「約束通りに元本および利息が支払われる確実性の程度」を利害関係のない第三者(格付け会社)が判断し、その結果を簡潔な記号にしたものです。なお、このランクが上位に位置するほど安全性が高いとされています。



不良債権への対応

当行では、従来より貸出資産の健全化に積極的に取り組んでおります。具体的には、本部内に設置している「企業経営支援室」をはじめ、各営業店において企業の経営改善に向けた各種支援活動を積極的に行っております。

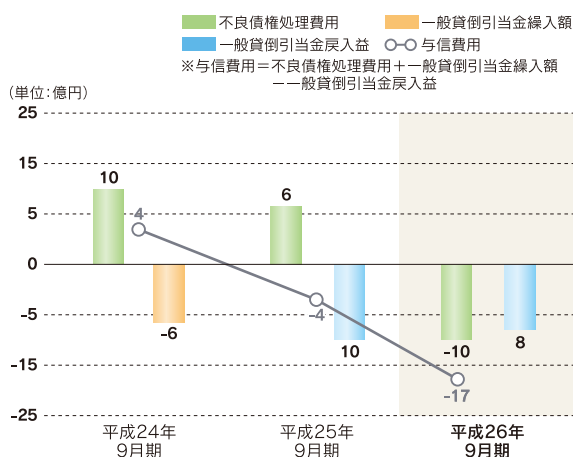
平成26年9月期については、不良債権処理費用が減少したことから、与信費用は前期比13億円減少し17億円の戻入益となりました。

また、平成26年9月末の不良債権額（金融再生法開示債権ベース）は515億円ですが、この不良債権が将来回収不能となった場合の備えである保全額（貸倒引当金、担保・

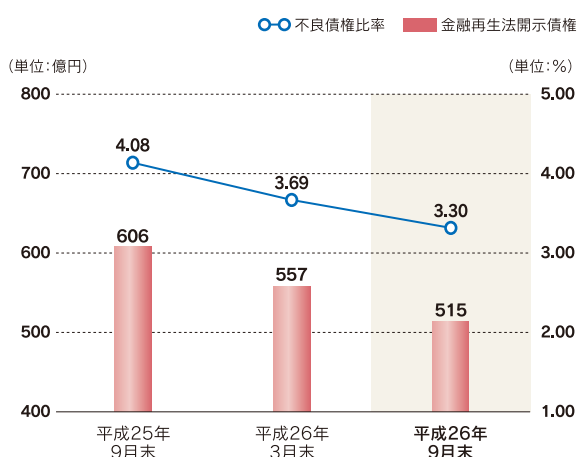
保証）は440億円であり、その保全率は85.46%と、高い水準を確保しております。

なお、金融再生法開示債権のうち、危険債権および要管理債権は、現在事業を継続されているお取引先への債権ですので、すべてが回収不能に至るものではありません。仮に、金融再生法開示債権がすべて回収不能になった場合、追加で必要な不良債権処理費用は75億円（金融再生法開示債権515億円－保全額440億円）ですが、「利益剰余金」（1,023億円）だけでも十分対応可能な水準です。

償却・引当の状況

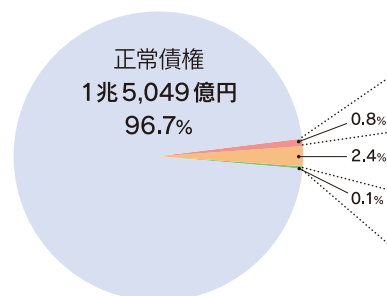


金融再生法開示債権推移



金融再生法開示債権の状況

平成26年9月末現在



金融再生法開示債権に対する保全の状況

区 分	残高 (A)	保全 (B) + (C) = (D)			保全率 (%)
		担保・保証等(B)	貸倒引当金(C)		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権(※1)	132	38	94		100.00
危険債権(※2)	373	247	57		81.42
要管理債権(※3)	10	4	0		46.18
合 計	515	289	152		85.46

注1／単位未満四捨五入 注2／保全率＝(D)÷(A)×100

用語解説

※1【破産更生債権及びこれらに準ずる債権】

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申し立て等の事由により、経営破綻に陥っているお取引先に対する債権およびこれらに準ずる債権です。

※2【危険債権】

お取引先の財政状態および経営成績が悪化し、契約にしたがった債権の元本回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。

※3【要管理債権】

3か月以上延滞債権および貸出条件緩和債権（金利の減免や利息の支払い、元本の返済を猶予した貸出金など）です。

預金・預り資産の状況

AKITA BANK REPORT 2014

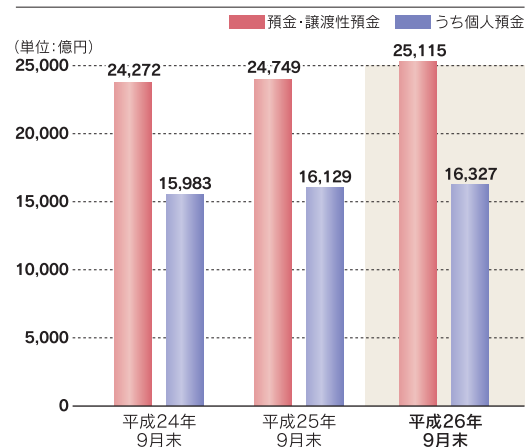
■ 預金の状況

預金・譲渡性預金は、個人預金、法人預金の増加により、前年同期末比366億円増加し、2兆5,115億円となりました。

平成26年9月末の預金・譲渡性預金残高に占める秋田県内残高の割合は89.1%となっております。

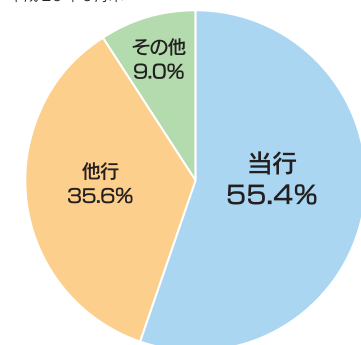
また、秋田県内における当行取引シェアは、55.4%と高い水準を維持しております。

■ 預金残高



■ 秋田県内シェア(金融機関別)

平成26年6月末

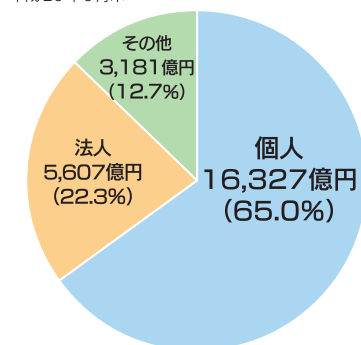


- 他行……都銀・地銀・第二地銀
- その他……信用金庫・信用組合

● 譲渡性預金は含まれておりません。 [資料:預金・貸出金一覧(日本金融通信社)ほか]

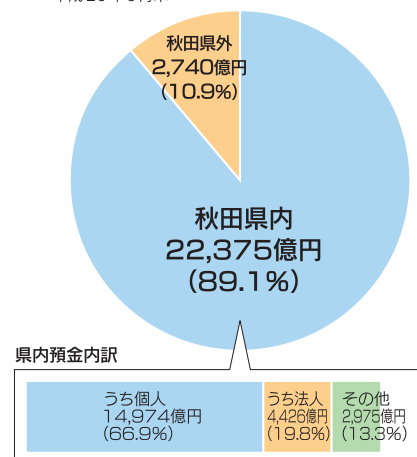
■ 預金者別

平成26年9月末

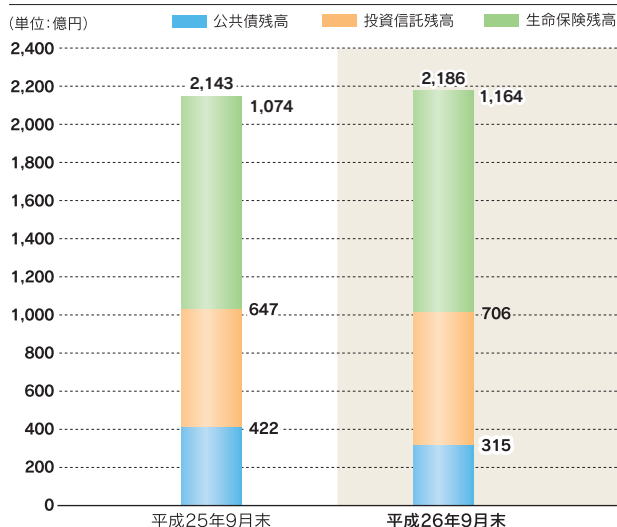


■ 県内外別

平成26年9月末

■ 預り資産^(※)残高の推移

■ 預り資産残高の推移



預り資産は、公共債は減少したものの、投資信託および生命保険の販売が順調に推移したことから、前年同期末比43億円増加し、2,186億円となりました。

用語解説

【預り資産】

公共債、投資信託、生命保険など金融商品を総称して「預り資産」と呼びます。また、個人年金保険、一時払終身保険を総称して「生命保険」と呼んでおります。

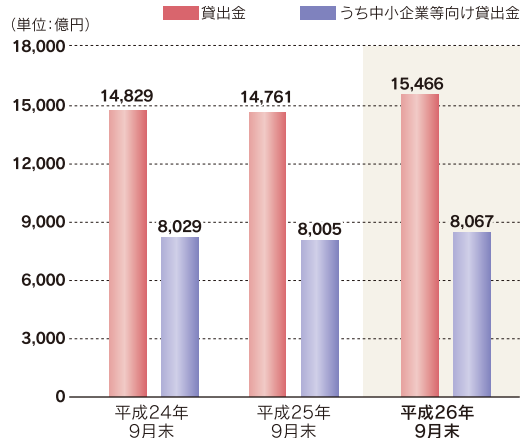
■ 貸出金の状況

貸出金は、個人ローン・地公体向け貸出金の増加により、前年同期末比705億円増加し、1兆5,466億円となりました。

平成26年9月末における貸出金残高に占める中小企業等向け貸出金の割合は52.1%となっております。

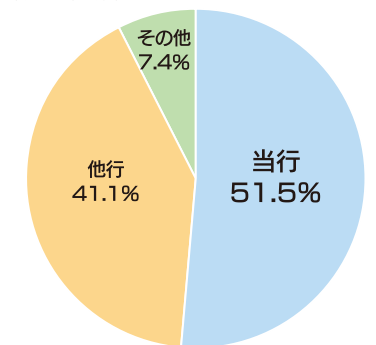
また、秋田県内における当行取引シェアは、51.5%と高い水準を維持しております。

■ 貸出金残高



■ 秋田県内シェア(金融機関別)

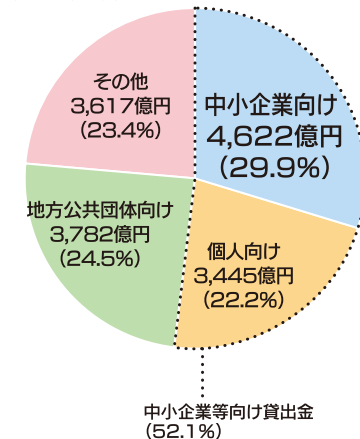
平成26年6月末



● 他行……都銀・地銀・第二地銀
● その他……信用金庫・信用組合
[資料: 預金・貸出金一覽(日本金融通信社)ほか]

■ 貸出先別

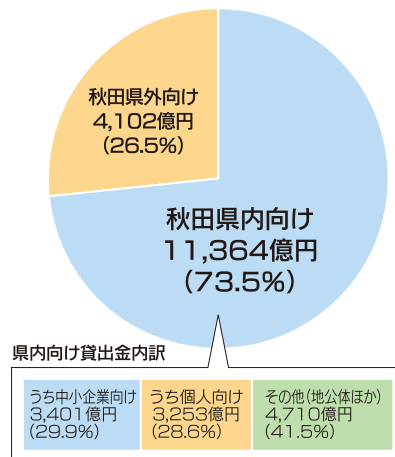
平成26年9月末



中小企業等向け貸出金 (52.1%)

■ 県内外別

平成26年9月末



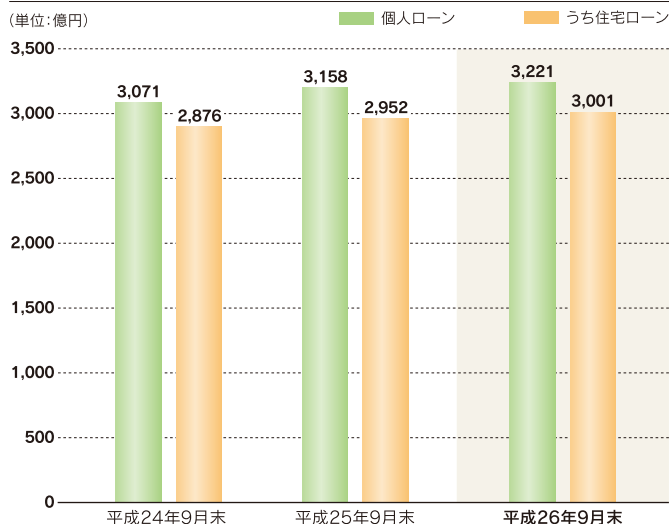
県内向け貸出金内訳

うち中小企業向け 3,401億円 (29.9%)	うち個人向け 3,253億円 (28.6%)	その他(地公体ほか) 4,710億円 (41.5%)
--------------------------------	------------------------------	----------------------------------

■ 個人ローンの状況

■ 個人ローンの推移

(単位: 億円)



個人ローンは、住宅ローンが前年同期末比49億円増加したことを主因として、前年同期末比63億円増加し、3,221億円となりました。

AKITA BANK REPORT 2014



刈和野の大綱引き
(大仙市)



秋田のイタヤ箕製作技術
(秋田市・仙北市)



東湖八坂神社の
トウニン(統人)行事
(男鹿市・潟上市)



六郷のカマクラ行事
(美郷町)



上郷の小正月行事
(にかほ市)